

授業科目 生理学実習Ⅰ

【担当教員名】		対象学年	1	対象学科	理学（前半）・作業
宮岡 洋三、川上 心也		開講時期	後期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【概要】 本科目では、「感覚機能、運動機能、心臓・循環機能、呼吸機能、消化機能」について実験的に学ぶ。基礎資料（教科書と生理学サイト、下記）からの情報収集、自分自身や友達を対象とした実験、そして採取したデータの適切な取りまとめを通して生体機能の理解を深める。					
【学習目標】 1. 本学の「生理学サイト(http://www.nuhw.ac.jp/~physiol/)」にアクセスし、実習資料を入手できる 2. 入手した実習資料を基に、実習遂行に必要な知識を整理できる（必要に応じて、図書館などで参考図書に当たり、資料を適宜加工できる） 3. 実習に参加して、学習項目に関する有効なデータを採取できる 4. 採取したデータを基に実験結果をまとめ、その生理学的な意味を考察できる 5. まとめたデータへの検討を通して、自分や友達の結果・考察に対してコメントできる					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	実習ガイダンス				実習、担当：宮岡 洋三 他
2	実習ガイダンス				実習、担当：宮岡 洋三 他
3	実習ガイダンス				実習、担当：宮岡 洋三 他
4	体性感覚：表面感覚	皮膚感覚点の検索	体性感覚：深部感覚	重量弁別の実験	実習、担当：宮岡 洋三 他
5	体性感覚：表面感覚	皮膚感覚点の検索	体性感覚：深部感覚	重量弁別の実験	実習、担当：宮岡 洋三 他
6	体性感覚：表面感覚	皮膚感覚点の検索	体性感覚：深部感覚	重量弁別の実験	実習、担当：宮岡 洋三 他
7	体性感覚：表面感覚	二点弁別閾値の測定	呼吸機能：肺活量・1秒率の測定		実習、担当：宮岡 洋三 他
8	体性感覚：表面感覚	二点弁別閾値の測定	呼吸機能：肺活量・1秒率の測定		実習、担当：宮岡 洋三 他
9	体性感覚：表面感覚	二点弁別閾値の測定	呼吸機能：肺活量・1秒率の測定		実習、担当：宮岡 洋三 他
10	循環機能：血圧の測定	循環機能：心電図(ECG)の記録・解析			実習、担当：宮岡 洋三 他
11	循環機能：血圧の測定	循環機能：心電図(ECG)の記録・解析			実習、担当：宮岡 洋三 他
12	循環機能：血圧の測定	循環機能：心電図(ECG)の記録・解析			実習、担当：宮岡 洋三 他
13	運動機能：表面筋電図(EMG)の記録	消化機能：唾液分泌量の測定			実習、担当：宮岡 洋三 他
14	運動機能：表面筋電図(EMG)の記録	消化機能：唾液分泌量の測定			実習、担当：宮岡 洋三 他
15	運動機能：表面筋電図(EMG)の記録	消化機能：唾液分泌量の測定			実習、担当：宮岡 洋三 他
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		生理学テキスト（第5版）	大地 陸男	文光堂	2008・4,800円＋税
参考書					
その他の資料		「生理学サイト」(http://www.nuhw.ac.jp/~physiol/)			
【評価方法】		【履修上の留意点】			
成績は「出席：約30%」、「課題レポート：約40%」ならびに「期末試験：約30%」の合計点で評価する。		実習室ならびに実習用具の制約から、上記の「授業計画」にある項目順序が変更になる場合もあるので、予め承知しておいて欲しい。 なお、客観性と公平性の確保が困難な「実習態度」は評価の対象としないが、明らかに他人の迷惑となっている場合には、退室を求めることがある。			